

平成28年度 原町第三小学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 杉千尋

1 学校図書館の概要

学校の紹介

市内中心部に位置する全校児童330名(普通13学級、特別支援学級2学級)の学校である。
昨年度末に耐震工事が完了し、校舎の大部分が新たな装いとなった。
学校図書館は「物語の部屋」(9類の文学及び絵本)と「調べる本の部屋」(0類～8類の本)の2部屋に分かれている。

平成28年度児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
65名	44名	57名	49名	54名	54名	7名	330名

(平成28年12月末時点)

学校派遣日 月・火・水曜日 週3回

図書担当教員 小森由貴子先生

学校図書館蔵書数(4月当初) 20,000点

学校図書館受入点数(3月末時点) 775点

うち 市費購入点数及び金額 296点(527,472円)

うち 寄贈資料点数 471点

うち PTA費購入点数 8点

2 平成28年度の課題及び目標

1-1 課題 耐震工事に伴う引越しの整理

1-2 課題 個人貸出方法の定着

1-3 課題 調べ学習参考図書の蔵書確認及び更新

2-1 目標 児童への個人貸出開始となる5月中旬までに引越しの整理を完了

2-2 目標 全校児童へのオリエンテーション実施及び貸出方法の周知

2-3 目標 更新する必要がある情報の古い資料の把握と更新作業の開始

3 活動の方針

- ・図書館運営全体計画に則り、教諭と連携して貸出方法の周知を図る。
- ・児童図書委員会の協力を得て新着図書案内やおすすめの本紹介等を行い、図書館の利用促進を図る。
- ・学校で設定している個人貸出冊数目標を低学年は年間30冊以上、中・高学年は20冊以上の達成のため、読書指導を強化するとともに「読みたい本」の提供を目指す。
- ・全国学校図書館協議会制定の「学校図書館図書廃棄規準」を参考にし、図書の整理及び廃棄を進めると同時に、資料の更新を行って常に児童が最新の情報で学習できるよう努める。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	児童図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教諭との打ち合わせ ・耐震工事に伴う引っ越し整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期組織編成及び前期活動計画設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館支援員会議① ・図書の借用開始
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震工事に伴う引っ越し整理 ・利用オリエンテーション ・個人貸出及び授業利用開始 ・選書（寄贈図書分） ・PTA環境整備ボランティア活動開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出当番開始 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震工事に伴う引っ越し整理 ・選書（寄贈図書分） 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年への読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館支援員会議② ・施設見学（2年生）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震工事に伴う引っ越し整理 ・夏季貸出 ・寄贈図書受け入れ ・地域読み聞かせサークル活動開始 ・市図書費選書打ち合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年への読み聞かせ ・長期未返却者確認及び督促 ・夏季貸出周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとしょかんだより配布
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震工事に伴う引っ越し整理 ・調べ学習参考図書の蔵書確認 ・市図書予算選書 ・夏季貸出図書返却処理 		<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館支援員会議③
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季貸出図書返却処理 ・市図書予算選書 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季貸出未返却者確認及び督促 ・前期活動反省 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・読書月間企画打ち合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期組織編成及び後期活動計画設定 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・市図書費受入 ・読書月間企画 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年への読み聞かせ ・新着図書の紹介 ・おすすめ本の展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館支援員会議④
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年への読み聞かせ ・長期未返却者確認及び督促 ・冬季貸出周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとしょかんだより配布
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季貸出図書返却処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季貸出未返却者確認及び督促 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館支援員会議⑤
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・個人貸出終了 ・蔵書点検 ・地域読み聞かせサークル活動終了 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年への読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館支援員会議⑥ ・子どもとしょかんだより配布
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・不明本搜索 ・PTA環境整備ボランティア活動終了 	<ul style="list-style-type: none"> ・不明本搜索 ・後期活動反省 	

4 年間活動内容

1年間の主な活動記録

4月～5月

- ・耐震工事に伴う引越しと本の整理

前年度のうちに図書及び書架の移動は行っていたが、十分な時間を確保できず、すべてのものを物語の部屋と図書準備室の2室へ移しただけの状態となっていた。(写真1～写真5)

4月のPTA奉仕作業で、まず書架の大部分を閉架書庫として使用する予定の図書準備室へ運んでもらい、本の整理作業を開始した。その際に作業の優先順位を決め、①児童が頻繁に利用する物語の部屋、②児童が調べ学習に利用する調べる本の部屋、③基本的に児童が立ち入らない図書準備室の順で整理を進めることとした。



写真1 物語の部屋1 (整理前)



写真2 物語の部屋2 (整理前)



写真3 物語の部屋3 (整理前)



写真4 図書準備室1 (整理前)



写真5 図書準備室2 (整理前)

- ・オリエンテーションの実施と個人貸出の開始

5月中旬に物語の部屋のおおまかな整理が終わり次第、全学級でオリエンテーションを実施、順次個人貸出を開始した。

例年であれば6月～7月ごろに開始する1年生への貸出も今年度は5月より同時に開始したが、支援員や図書委員のフォローがあれば十分に借りることができた。

6月

- ・PTA環境整備ボランティアの活動開始

5月末に顔合わせを行い、6月より本格的に活動を開始した。物語の部屋の壁面飾りの作成や書架整理、新着図書の受入作業など3月の活動終了まで大きな力となっていた。

(写真6・写真7)



写真6 壁面の飾りつけ



写真7 新着図書の受入作業

- ・新書架搬入とおすすめ本コーナー整備

耐震工事の期間、保留としていた書架の作成を依頼した。即座に希望のものを作成・搬入してもらったが、配架予定であった杉並文庫は児童の利用を考えて各分野の棚へ収めることとしたため、該当の書架はおすすめ本コーナーとして活用。

6月は梅雨にちなんで雨の本とテレビ番組の連続放映にあわせてハリーポッターシリーズをおすすめした。(写真8) また書架が搬入されたことで仮の状態であった物語の部屋の配置、整理がひと段落した。(写真9～写真11)



写真8 おすすめ本コーナー (6月)



写真9 物語の部屋1 (整理後)



写真10 物語の部屋2 (整理後)



写真11 物語の部屋3 (整理後)

7月～8月

- ・市図書費選書と調べる本の部屋整理

図書担当教諭と市図書費の打ち合わせを行い、夏季休業中に各学年から希望する図書を挙げてもらうこととなった。

また、調べる本の部屋を整理し、同時に調べ学習参考図書の蔵書確認を行った。刊行後20年以上が経過し、資料として明らかに情報の古い図書が複数あるため、それらに代わる新しい図書も選書に加えた。

なお、調べ学習参考図書の蔵書確認は11月ごろまで継続して行い、更新の望ましい図書に関しては、授業利用の様子を見ながら次年度以降も更新していくこととした。

9月～10月

- ・夏季特別貸出図書の処理

夏休みにあわせて行った特別貸出図書の返却処理及び書架整理、未返却児童への督促を行った。前者はPTAボランティアの協力、後者は児童図書委員会と協力して実施。

- ・スマイルライブラリー (寄贈図書) 受入配架

ニュースキンジャパンより寄贈を受けた318冊の図書を受入、配架。(写真12)

物語の部屋前の掲示板に受入図書の一覧を掲示したところ、興味を持って借りに来る児童が多く見られた。



写真12 寄贈図書318冊を配架

・お楽しみ企画「オバケヲサガセ」

ハロウィンにあわせてお楽しみ企画「オバケヲサガセ」を実施した。

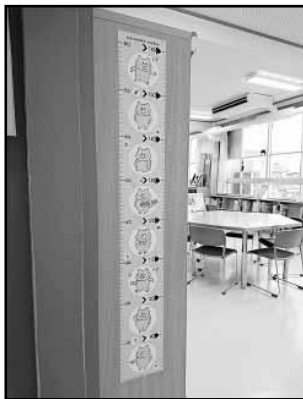
P T A ボランティアが秋の壁面飾りとしておりがみで作成したおばけを物語の部屋内に散らして貼り、すべて見つけた児童へしおりをプレゼントするものである。(写真13)

掲示等は出さず、ロコミだけで実施したが、169人の参加があった。

参加は低学年が中心で、これまであまり利用のなかった児童が足を運ぶきっかけになった。



写真13 プレゼントしたしおり



・身長計の設置

身長計(雑誌の付録)を児童の身長に合わせた目盛りになるよう手を加え、入口の棚脇に設置した。(写真14)

目につきやすい場所ということもあり、移動教室時や休み時間などに児童同士で身長を測りあう様子が見られた。

特にこれまではなかなか足を運ばなかった高学年男子を中心にこの様子が見られ、新着雑誌を求めて足を運ぶきっかけとなった。

写真14 高学年男子が足を運ぶきっかけとなった身長計

11月

・「読書の木」実施

11月は読書月間であると同時に県の読書調査も入ることから、視覚的に読書量が分かるよう「読書の木」を実施した。(写真15・写真16)

本を読み終わったらりんごの実に書名を記入し、物語の部屋前に作成した木へ貼っていくというものである。木はスペースの関係上、学年ごとではなく低学年・中学年・高学年の3本を用意した。

最終的に木になったりんごの実は、低学年61個・中学年66個・高学年47個の合計174個であった。

なお、児童全員の参加ではないため、木になったりんごの實と県の読書調査には誤差があるものの、積極的に参加していた。



写真15 読書の木(実施前)



写真16 読書の木(実施最終日)



・図書委員おすすめの本

委員会活動の中でおすすめの本を選び、掲示用のポスターを作成した。(写真17)

取り上げた本はすべておすすめ本コーナーへ展示したところ、手に取る児童が多く、その様子を見た図書委員からは喜びの声が聞かれた。

写真17 図書委員おすすめの本ポスター

12月

- ・新着図書受入及び配架

市図書費で購入した約300冊の受入を行った。

冬休みにあわせた特別貸出で児童が手に取れるよう、PTAボランティア協力のもと最優先で作業を行った。

1月～2月

- ・おみくじ企画「とりみくじ」実施

酉年にちなんで鳥の豆知識を載せたおみくじカードを作成し、「とりみくじ」と題して実施。

(写真18)

全20種類のおみくじカードから自分で引きたいカードをひとつ決め、何度目で出てくる

かによってその日の運勢を占うものである。

企画終了後のおみくじカードは企画実施期間内に3冊の本を借りて読み終わった児童にプレゼントすると利用促進につながった。

プレゼントを希望した児童は76人、貸出冊数は1月2月あわせて409冊を記録した。

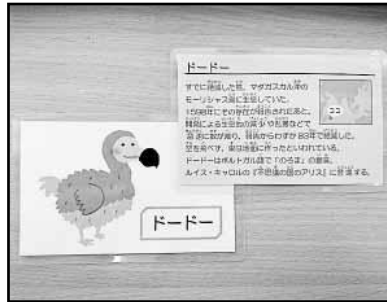


写真18 おみくじカード



写真19 おみくじを楽しむ児童

5 中央図書館からのサポート内容

- ・市図書費の選書アドバイス（本の分類確認）および発注処理
- ・寄贈図書費の選書アドバイス（本の分類確認）および発注処理
- ・学校図書館への貸出点数 1,031点/年

6 学校図書館利用実績

(1) 年間貸出点数

① 個人貸出点数

(単位：点)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	支援学級	総合計
年間合計	639	517	531	434	287	487	80	2,975
一人あたり	9.8	11.8	9.3	8.9	5.3	9.0	11.4	9.0
一人あたりの昨年度比	80%	101%	63%	82%	70%	161%	94%	86%

※1 1人1冊1週間の貸出

※2 夏休み及び冬休みは1人2冊以内の特別貸出

※3 8月は特別貸出図書返却期間のため貸出なし

※4 3月は進級・卒業準備のため10日までの貸出

② 学級文庫貸出点数

(単位：点)

	1年 (3クラス)	2年 (2クラス)	3年 (2クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	支援学級 (2クラス)	総合計
学年合計	203	217	157	209	147	29	179	1,141

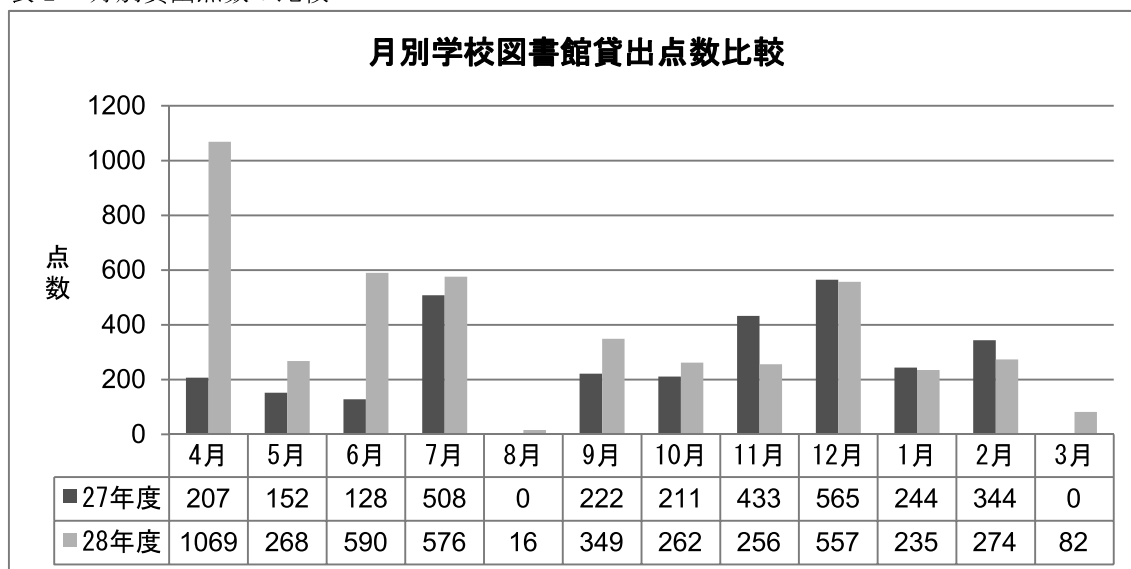
③ 調べ学習等貸出点数

(単位：点)

	1年 (3クラス)	2年 (2クラス)	3年 (2クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	支援学級 (2クラス)	総合計
学年合計	131	17	24	118	53	29	28	400
昨年度比	771%	19%	121%	257%	189%	35%	50%	77%

(2) 学校図書館利用実績比較

表1 月別貸出点数の比較



前期は前年度を上回る利用があったが、読書月間である11月は残念ながら昨年度の6割弱と大きく落ち込んだ。

校内マラソン大会や竹馬大会といった複数の学校行事が重なったこと、予定していた市図書費購入本の受入が12月にずれ込んだこと等も影響していると思われるが、一番の要因は児童にとって魅力的な企画を設定できなかったことであると考えられる。

それを踏まえ、1月～2月にかけておみくじ企画と企画に使用したおみくじカードのプレゼントを行った。

その結果、前年度に迫る貸出冊数を記録した。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

(1) 本年度の成果

3-1 成果 耐震工事に伴う引っ越し整理の一部完了

物語の部屋の整理、調べる本の部屋の整理ともにおおむね完了することができた。

特に前者は予定していた5月中旬まで整理をおおむね完了し、児童への個人貸出を予定通りに開始することができた。

3-2 成果 個人貸出方法の周知

全学級でオリエンテーションを実施し、個人貸出方法の周知はおおむねできたと考える。

3-3 成果 調べ学習参考図書の蔵書確認及び更新作業

調べ学習参考図書の蔵書確認を行い、刊行後20年以上と明らかに情報の古い図書については更新を行うことができた。

(2) 来年度に向けた課題

4-1 課題 図書準備室の整理

児童の利用がある物語の部屋及び調べる本の部屋は整理が完了したものの、基本的に児童が立ち入らない図書準備室の整理は課題として残る。早い段階で整理を完了し、閉架書庫として有効に活用できるようにしたい。

4-2 課題 個人貸出方法の定着

個人貸出方法の周知はおおむねできたと考えるが、継続した利用がない場合は忘れてしまう児童が見られた。声掛けを行うと思い出す様子が見られたものの、支援員不在時はフォローができないため、図書紛失につながるような事例も確認された。そのため、来年度はより定着ができるよう支援を行っていきたい。

4-3 課題 継続的な調べ学習参考図書の更新作業

刊行後20年以上が経過し、資料として明らかに情報の古い図書については今年度中に更新を行うことができたが、刊行後5年以上が経過している図書も多く確認された。全国学校図書館協議会制定の「学校図書館図書廃棄規準」ではおおむね刊行後3年～5年で現状にそぐわなくなった図書、あるいは最近の研究成果が取り入れられていない図書等は廃棄の対象とする指針が示されている。そのため、今後も継続的な更新作業が必要である。